

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日清紡精機広島株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋台1丁目3番30号

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業 (3113)

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成23(2011)年度を基準年度とし、平成24(2012)年度から平成28(2016)年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス みなし排出量										
実績に対する 自己評価										

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産数量(単位:千台)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成23年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
エネルギー 起源CO2	1.387	1.317 5.0	1.062 23.5	1.157 16.6	1.215 12.4	1.452 -4.7	100.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	1.387	1.317 5.1	1.062 23.5	1.157 16.6	1.215 12.4	1.452 -4.7	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	0.4852	0.4609 5.0	0.4084 15.8	0.3965 18.3	0.4272 11.9	0.5190 -7.0	100.0
実績に対する 自己評価	CO2排出量総計は1147t-CO <sub>2</sub> (対基準年で57.72%削減) となったが、年々続く生産数の減少 (対基準年で60%減) にて、原単位は対基準年で4.7%増と大幅に悪化した。製造品目のウェイト変化による生産数縮小 (数量の多い製品から少ない製品へシフトしている) もあるが、ベースエネルギーの削減が追従しきれない状況となっている。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の廃止	燃料の使用によるエネルギー起源CO2原単位は対基準年度で100%削減	大型空調設備のボイラーを完全停止（廃止）とし、必要な職場へ個別エアコンを設置して、重油使用を廃止した。
2	電気使用量の削減	電気の使用によるエネルギー起源CO2排出は対基準年度で52.2%削減 (削減量1251t-CO2)	冷暖房温度の適正管理（夏28℃, 冬18℃） 空調機の運転時間短縮 休憩時間の消灯の設定 エアコンプレッサの運転負荷低減 エア圧力設定の運転適正化 生産設備の効率的な運用 空調ボイラー廃止 照明器具の高効率タイプ更新（その他参照）
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	空調使用低減による重油、電気使用量削減		2F職場（加工場、組立職場、事務所）を1Fにレイアウト。空調エリアを集約し、空調使用低減を図る。 (平成24年度実施済)
2	工場照明の取替え		400w水銀灯のLED直管へ換え（両光タイプ）
3	工場照明の取替え（検討中）	年間約6,900kwhの削減見込み	75w水銀灯のLED化検討（1F加工場） 110w蛍光灯器具のLED化検討（1F組立）

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。